

第2コムハウス通信

957号

最近、性的少数者を表す LGBT(Q+)という言葉めぐって、多様な性のあり方が、メディアなどで取り上げられることが増えてきました。生き方の多様性を尊重していく考え方が社会のなかで定着してきた現れだと感じています。一方で「少子化につながり非生産的」「日本の家族制度を破壊する」等の意見も聞かれます。今の国会では「性的少数者に対する理解増進」法案の成立が危ぶまれているようです。また、少なくない当事者が偏見や差別にさらされているとの訴えも聞かれます。でも「性同一性障害」とは当事者の側に「障がい」があるのではなく、差別や偏見も含めて、社会の側の「障壁」ではないでしょうか。まさに障がいの「社会モデル」のわかりやすい例なのではないかと感じます。どんな障がいで、社会の側にこそその障壁をなくす取り組みが求められている…この立場で私たちも支援を重ねていきたいと思っています。

かしこく

今週も、ぼかし作業、はこびやの仕事をみなさんががんばっています。

暑くなってくるので水分もとりながら、引き続きがんばろうと思います。

おもいやり

余暇の時間、カスタムお弁当を買って「からねこせ」で食べました。たまたま外食もできている状況のため、良い気分転換ができました。おいしいお弁当と、クッキー、飲み物で、のんびり楽しむことができました。




ふき

余暇外出で「足湯」に行きました!!

一層食会場では「炭道」を体験する事ができとてもいい経験ができました。

みなさんの笑顔が見られました!



つくりやグループ

今年もレタスのマルチはぎ作業が始まりました。

みなさんの顔に土ほじがついたりはかばらも青空の下、わいわいマルチはぎを行いました!!